

第 10 回例会

2022. 9. 28

例会場 クーラクーリアンテナサンパレス 福島市上町 4-30

開催日 毎週水曜日 12時30分～

会長 渡邊 正義

幹事 穴戸 隆司

 国際ロータリー第 2530 地区 県北第一分区
 福島南ロータリークラブ会報

 今年度
 スローガン
 インスパイア

いつもわが身を鼓舞し、仲間の行動を激励し、人に感銘を与える

 会員 68 名中 52 名出席 出席率 76.47%
 修正 57 名出席 出席率 83.82%
 メイクアップ 5 名

WEBSITE!


 イマジン
 ロータリー

会長挨拶 渡邊 正義 会長



先日の日曜日に福島ロータリークラブ主催のスポごみに参加してきました。市長をはじめ佐藤ガバナー、県北第一分区箭内ガバナー補佐、県北第二分区網代ガバナー補佐の参加がありました。当クラブからは大橋パストガバナー夫妻をはじめ 12 名に、成蹊高校からは 22 名に参加頂き、大勢の参加者と楽しい一日を過ごしました。全体で 400 名以上の参加者集まったそうです。行くところ行くところ人だらけで、あまりゴミが拾えなかった事もありますが、昔より落ちていたゴミが少なくなったように感じました。佐藤ガバナーの挨拶では、「このようなイベントは確かに大切ですが、このようなイベントが将来にも続くようでも困ります。まず町からゴミをなくすことが大事ではないでしょうか」というお言葉でした。和やかなうちに表彰式が終わり、我が福島南ロータリーはメーカー賞と 55 位（飛び賞）で表彰いただきました。成蹊高校は 3 位、そして東陵高校が第 2 位でした。とても疲れた一日でした。

退会者挨拶、お饞別贈呈 金子 與人 会員



これまで、あまり大きな貢献もできず、またご迷惑をかけたこともあったかと思いますが、今回、一身上の理由で退会させていただきましたことになりました。申し訳ありません。入会時は日産自動車福島に在籍しておりましたが、その後、会社の形態が変わり、仕事上の事情もあり、休会させていただきました。その間、いろいろ頑張ってきたものの、今年 9 月 6 日で 60 歳の誕生日を迎え、一つの節目でありますし、加えて地域の活動に専念したいと思うようにもなりました。このような事情について、皆さまにもご説明してご理解いただきたいと思い、本日、説明の機会を設けていただきました。福島南ロータリークラブには父の代からお世話になっており、大変残念ではございますが、また自律的な活動ができるようになればお世話になることもあるかと考えております。これまで大変お世話になりました。

新会員スピーチ

○ 増子 芳教 会員

7月に入会させていただいた東邦銀行の増子芳教と申します。私は福島南ロータリークラブ設立の4年後昭和50年生まれの47歳で、福島南ロータリークラブの中では、かなりの若手と言えるかもしれません。出身は郡山市で、高校までは地元で過ごし、大学は指定校推薦で運よく早稲田大学に進学することができました。大学時代の4年間は学業面ではやや不真面目な生活を過ごしてしまったこともあり、就職では固い銀行に入り、親孝行をしようと地元の東邦銀行に平成10年に入社いたしました。これまでの銀行員生活では、本宮支店を皮切りに、新宿支店、人事部、郡山荒井支店、水戸支店、相馬市役所への出向、総合企画部、そして再度の人事部勤務を経まして、今年の7月から南福島支店に勤務しております。多くの地域や部署での勤務、お客さま、上司、同僚と多くの方々と出会いがあり自分もここまで成長できたと思っております。仕事にあたっては、「誠実に」「嘘をつかない」ことを心がけてきました。福島南ロータリークラブに入会させていただいたのも素晴らしい縁だと思っておりますので、ロータリー活動においても「誠実に」「嘘をつかず」に頑張っていきたいと考えております。入会してすぐに役員という大役を仰せつかり大変恐縮ではございますが、皆様のご指導を賜りながら頑張っていく所存でございますので、どうぞよろしくお願いいたします。



○ 阿部 公哉 会員

先日のスピーチで自己紹介させていただきましたので、本日は最近参加したセミナーで感じた事をお話させていただきます。9/10に開催された第2530地区の県北第一・第二分区合同の新会員セミナーと9/14に開催された当クラブの新会員オリエンテーションに参加させていただきました。新会員セミナーでは、地区研修リーダーの石黒パストガバナーから「規則的例会出席の原則」、「発想の交換機能」というキーワードを用いてロータリー魅力、例会出席の意義について説明いただきました。スピーチでは例会の卓話で聞いたネット通販事業のモデルをビジネスチャンスとして生かした例等を題材に、例会に出席する意義・魅力についてわかりやすく説明いただきました。また、新会員オリエンテーションでは、箭内ガバナー補佐からロータリーの歴史を説明いただきました。ロータリーの活動が職業を通じた会員相互の奉仕活動から始まって、11カ条の道徳律、職業宣言、行動規範と、その形や性格を変えてきたことなどを解説いただきました。少し難しい内容であり、1度聞いただけで腹落ちしたとは言えないところですが、今後の活動を通じて理解を深めていきたいと思っております。現時点の自分の受け止めとしては、高い倫理観をもって職業を通じて社会に奉仕しながら、自分の事業活動を通じて得た知見や利益の一部を、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕などの諸活動に少しでも役立てることができればと考えております。少し誤った解釈をしている部分もあるかと思いますが、活動を通じて勉強し、少しでも成長できればと考えておりますので、引き続き皆様のご指導をよろしく願います。



○ 清水 武 会員

7月に南ロータリーに入会させていただき清水です。職業は居酒屋を経営しており、福島に4店と仙台の国分町に1店、全部で5店舗を運営させていただいております。ロータリーに関しては全くの素人でございますが、皆さまにご指導をいただきながら成長させていただければと思っておりますので、今後ともよろしく願います。



新会員歓迎スピーチ 松崎 弘昭 副会長



新会員の方々とは、入会の時期が丁度コロナ禍と重なり、好意と友情を深める機会が少なく非常に残念でなりません。この場を借りて改めて入会を心から歓迎したいと思います。さて、あるアンケート調査で一般の方々のロータリーに対するイメージを聞いてみると「酒を飲んで、美味しいものを食べているお金持ちの集まり」というのがトップに来るそうです。そんな風に思われていると思うと非常に残念なのですが、私自身もロータリーでの活動や個人としての行いが、「やってあげている」とか「助けてあげている」というような上から目線の奉仕になっていないか、もう一度、胸のバッチに手を当てて考える必要があるのかも知れません。私たちロータリアンにあってこのバッチは、単なるステータスの象徴ではなく、ロータリアンとし

ての誇りと覚悟を表しているものです。いつでもどこでもバッチを着けているから、「悪いことはできない」、「ロータリアンとして恥ずかしいことはできない」という思いを持たせてくれるものなのです。新会員の皆さんにはこれからたくさんのロータリアンと接する機会が与えられます。全世界のロータリアンの中には、自分とは違った価値観を持つ方や素晴らしい感性を持つ方がたくさんおられます。正にロータリーは人材の宝庫です。新会員の皆さんには、ロータリーの表面にとらわれることなく、是非できるだけ多くの皆さんと知り合いになり、奉仕を学ぶ機会を持っていただければと思います。「石の上には3年」という言葉もありますが、ロータリーの活動で一人前になるためには「石の上にも5年」という気持ちを持って、ロータリーになじむまで在籍していただき、ロータリーの本質を学び、ロータリーを楽しんで頂きたいと思います。

ガバナー補佐スピーチ 県北第一分区ガバナー補佐 筋内 一典 様



本日は 2022 年度の R I の定款・会則の改定について、説明いたします。先月の佐藤正道ガバナー公式訪問の際に、ガバナーから各クラブの年次計画書・報告書に記載されているクラブ定款・細則に最新の R I の定款・会則の改正結果が反映されていないとのご指摘を受けておりますので、次年度以降の作成に反映していただければと思います。

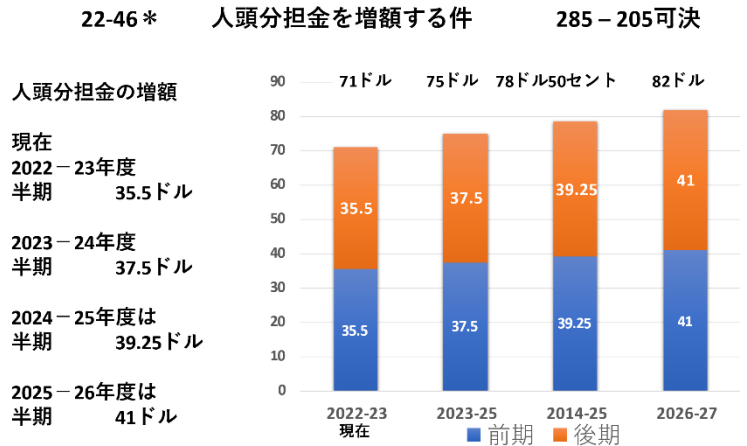
2022 年の国際ロータリー規定審議会は、米国イリノイ州シカゴで 4 月 10 日～14 日まで開催されました。参加代表議員は 522 名。コロナのため、直接会合参加 324 名(日本から 9 名)、バーチャル参加 198 名(日本から 25 名)でした。当地区からは代議員として酒井善盛パストガバナーがバーチャルで参加いたしました。

今回の規定審議会には、94 件の制定案が提出され、29 件の制定案が採択されました。また日本から制定案は 7 件が採択されました。(次ページに続く)

【主な採択内容】

・ 制定案 22-46 : 人頭分担金の変更

2019年規定審議会で22-23年度までの人頭分担金は決まっています。今年度は半期35.5ドル、年間で71ドルです。R I 理事会の当初の提案は毎年2ドルずつ増額する、という案でしたが、規定審議会開催の直前に修正案が出てきて、23-24年度は年間4ドル値上げとなる半期37.5ドル、24-25年度は、さらに年間3.5ドル値上げとなる半期39.25ドル、25-26年度も、さらに年間3.5ドル値上げとなる半期41ドルが採択されました。2023年からの3年間で11ドルの値上げをすることになります。



・ 制定案 22-71 : クラブ管理に係わる試験的プロジェクト

クラブ管理の試験的プロジェクトがRIBI (イギリス)、およびオーストラリア、ニュージーランドで開始できるようになります。これはロータリーの未来形成SRF (Shaping Rotary's Future [SRF]) に関係する制定案という事で、我々ロータリアンが、これから最も注視していく必要がある試験的プロジェクトだと思えます。

・ 制定案 22-07 : クラブ理事会の議事録の提出期限の短縮

クラブ理事会の議事録を会員に提供する期限が60日から30日以内に短縮されます。

・ 制定案 22-10 : 会員基盤の構成要素の追加

バランスの取れた会員基盤の構築要素に「公平さ」と「インクルージョン」が加わります。

・ 制定案 22-13 : 会員の住居または事業所に係わる要件の緩和

会員がクラブの所在地域に住居または事業場を有する要件が削除されます。これによって、住所や職場に関わらず、世界中どのクラブにでも入会することが可能となります。

・ 制定案 22-14 : 入会候補者の推薦資格の変更

正会員はどのクラブに対してでも入会候補者を推薦できるようになります。つまり、自分が所属していないクラブに対しても会員を推薦することができるようになります。

・ 制定案 22-18 : R I 委員会の委員資格の明文化

ローターアクターがR I 委員会の委員となれることが明文化されます。

・ 制定案 22-38 : 理事会の権限強化

地区に対して訴訟を起こしたクラブを加盟停止または終結させる権限が理事会に与えられます。「そのような訴訟を起こしたり、訴訟を継続したりした会員またはローターアクターを有しているクラブまたはローターアクトクラブの加盟を停止または終結することができる」と国際ロータリー細則を改訂しました。これは、R I、ロータリー財団と同様に、地区に対しても訴訟をさせないようにするものだと思います。

第4回福島成蹊高校 I A C例会

9/21(水)に、青少年奉仕委員会(委員長:伊藤弘子会員)の主催で、会場をクーラクーリアンテサンパレスに移し、ドリームプロジェクト『ウェディングスタイルレッスン』として開催し、当クラブからも渡邊会長、宍戸幹事、伊藤委員長を含めて41名が参加しました。

今回は、学生の社会教育の一環として慶事の継承やマナー講習を通じ、国・地域の文化を伝える事を目的として、ウェディングにおける感動の創出の体験をして頂きました。クーラクーリアンテサンパレス様のスタッフに講師をお願いし、ウェディングパーティの進行形式で講習し、IACメンバーも興味深そうに参加しておりました。



第2回スポGOMI大会 in Fukushima

スポーツと社会貢献を結び付けたスポGOMIが、
社会問題を解決できる効果

9/25（日）に、福島ロータリークラブの主催、国際トータル2530 地区県北第一分区・県北第二分区の各クラブが共催する形で、福島市内を会場とした「第2回スポGOMI 退会 in Fukushima」が開催されました。当福島南ロータリークラブからは渡邊会長、宍戸幹事を含めて12名が参加しましたIAC校である福島成蹊高校からは22名が参加し、45分の制限時間内に福島市内のごみを拾い、その種類と量でポイントを競い合いました。天候にも恵まれ、チームスポーツで楽しく汗を流すとともに、当クラブだけでも3kg以上のごみを回収することができ、福島市内の環境美化活動に貢献できました。皆さまお疲れさまでした。

効果 1

気軽に、スポーツで 街の環境美化

スポーツなので、気軽な気持ちで参加しやすく勝ち負けを競いながら、社会貢献活動を始めるきっかけが作れます

効果 2

楽しみながら自然に 意識改革を促進

楽しみながら、環境のさまざまな不便さに気付くようになり、自然と意識改革を促進していきます

効果 3

地域コミュニティなどの リアルな繋がり構築

インターネットやSNSの時代だからこそ、地域コミュニティなど、いま求められるリアルな繋がりや絆を構築できます

効果 4

子供たちへの効果による 将来への持続性

大人はもちろん、特に子供たちに効果的な社会貢献の促進力を持ち、将来への持続的な社会貢献活動の意識が身につきます

【当クラブのチーム成績】

- ・ 42位：すずきチーム （221ポイント, 1.41kg）
- ・ 55位：わたなべ①チーム （128ポイント, 0.94kg）
- ・ 73位：わたなべ②チーム （70ポイント, 0.34kg）
- ・ 79位：林チーム （34.5ポイント, 0.52kg）



米山奨学生誕生会 米山奨学生 于秋麗さん

9/10（土）に、米山記念奨学生カウンセラー（鈴木洋子会員）の主催で、于秋麗さんの誕生会を開催しました。渡邊会長、横山委員長を含む会員7名が参加し、于秋麗さんの近況について報告を受けるとともに、楽しく懇談しました。于秋麗さんの残りの留學生活がより一層充実するよう引き続き会員各位のご協力をお願いいたします。

